

第35号

発行
北九州地区
信徒使徒職協議会
会長 迫立泰治

編集
北九州信徒協広報部
担当司祭 山元 眞
担当委員 岩本光弘

カトリック
北九州地区
信徒協だより
News Bulletin for Catholic Believers' Association in Kita-Kyushu Area

主な内容

- 1面 親睦レクリエーション
- 2面 2013年平和の集い
共同回式日程
- 3面 教皇メッセージ
山元眞神父
- 4面 English Column
- 5面 正義と平和全国集会
司祭紹介
- 6面 研修会・ニュース



★おもしろかった。
特に大なわとびが
おもしろかった。
(小6女子)



5年ぶりの
親 睦
レクリエーション
開催
10月14日



★天気も良く初めてのグランドゴルフだったが、これほど面白いとは思わなかった。見ているだけの年輩の方も多かったが、見るだけでももったいないので、ぜひ次回は参加してほしいですね。(57歳男性)

★グラウンドゴルフは初めて参加したのだけど、すごく楽しかった。他の教会の信者さんたちとも話ができてよかった。来年もあれば必ず参加したい。(79歳女性)



★グランドゴルフでは、組み分けをもっと混成にした方がよかった。(実行委員会)



★今回はテントの中で応援役だったが、みんなが「面白かった、楽しかった」と言うので、来年はぜひ体調を整えて競技に参加したいです。(76歳女性)

★10月にしたことで涼しく、プログラムも余裕があったと思います。(実行委員)

四年間、毎年雨で中止になっていたレクリエーション大会でしたが、今年は日程を10月にずらしたところ絶好の晴天となり、参加者も三百人くらい、子どもも八十人くらい参加してくれました。盛大に開催することができました。実行委員会では、今年に競技の内容を大幅に変えて誰でも楽しく参加できるための工夫をしましたが、子どもたちには少し物足りないという感想もあり、準備する人たちの苦勞もあつたようです。参加した方々と実行委員会の感想をいただきました。

司祭と信徒の懇談会を開きます。
1月12日(日)15時～ 小倉教会
テーマ
教皇メッセージに触れよう
[詳細は5面]

★子どもたちは少し物足りなかつたようでした。リレーをしたいと思いますので急遽追加しました。来年は考慮したい。(実行委員会)



★とっても楽しかったです。他の教会の友だちができました。(小5女子)



講師の後藤神父

実行委員長



平和の祈りと願いを聞いて下さい 第13回北九州平和の集い 2013.8.11

献金された352,680円を大槌ベースキャンプへ

8月11日に開催された2013年北九州平和の集いは、皆様のご協力により無事終了しました。感謝致します。

今年も、具体的で身近な取り組み発表を行いました。岩手県での2ヶ月にわたるボランティア体験発表では、寄り添うことの大切さが伝わりました。また青年たちによる被災地に行つて現地ではか感じるものの出来ない体験、ダルクの薬物依存からの真剣な取組、若松地域での百年以上つづくキリスト教会合同祈禱会の発表など、どれも新鮮な風を吹かせてくれたようです。

講演では、後藤正史神父の国是と信教の自由について貴重なお話を聞くことができました。平和祈願での沈黙のひととき「私たちが忘れないで」と「母の祈り」は、参加された方々から感動と感謝の言葉を多くいただきました。今回は女性実行委員長を中心に取り組みましたが、いかがでしたでしょうか。今後も平和への祈りと努力を、これまで以上に続けねばならないと感じています。また多くの課題もいただき、御礼申し上げます。



奉納された平和の捧げもの。ひとつひとつが丁寧に作られ、平和の願いが込められていました。



子どもたちの手による奉納行列。各教会や子どもの広場で作られたものです。



平和の集いが終わってから、子どもたちは練習した歌を大きな声で歌いました。今年は大人たちも加わり、大合唱となりました。



100年続く若松地区の合同祈禱会



岩手でのボランティア体験のお話



薬物依存からの脱却をめざす貴重な発表



道行く人たちに憲法9条の大切さを呼び掛ける取組。傘アクションの披露。



平和の集いに欠かせないバンドのみなさん。今年もいい音色の演奏でした。

待降節 共同回心式日程

日付	教会名	時間
11月30日(土)	田川	10:00
12月3日(火)	湯川	10:30, 19:30
12月6日(金)	若松	19:00
	直方	14:00, 19:30
12月10日(火)	戸畑	10:30, 19:30
12月11日(水)	新田原	10:00, 19:00

日付	教会名	時間
12月13日(金)	水巻	10:00, 19:30
12月17日(火)	行橋	11:00, 19:30
12月18日(水)	豊津	19:30
	小倉	11:00, 19:30
12月19日(木)	飯塚	11:00, 19:00
	門司	11:00, 19:00

教皇フランシスコを追っかける

小倉カトリック教会主任司祭

山元 眞神父

おっかけ

今年の三月十三日から新教皇フランシスコの「おっかけ」が始まった。インターネットを使えば二十四時間いつでもバチカン放送を見聞きすることができる。テレビやラジオと違って、生放送を見た後でもいつでも同じ放送が見れることが素晴らしい。

朝ミサの説教や毎日曜日に聖ペトロ広場に集まった巡礼者と共に行われるアンジェラスの祈り（お告げの祈り）の様子。毎水曜日に聖ペトロ広場で行われる（冬



山元神父

期はパウロ六世ホール）一般謁見での様子。以上のような定期的なことに加え、不定期に行われる様々な行事や典礼も観ることが出来る。教皇フランシスコを追っかけることは、アシジの聖フランシスコを追うことでもあり、当然、両者が追っている先にいるイエス・キリストを追っかけることになる。

「信仰年」

先代のベネディクト十六世教皇は今年の十月十一日から今年の十一月二十四日までを「信仰年」と定めた。信仰の見直しをするようにと。歴史的な教皇職引退をされた後、フランシスコ教皇が選ばれた。フランシスコ教皇はわかりやすい言葉で具体的に信仰の見直しを進め、勧めている。信仰の見直しのヒントを与え、教えているだけではなく、ご自身の生き方を通して教えて

くださっている。その根底にあるのはいつもイエス・キリスト。

イエス・キリスト

わたしたちは誰を信じているのか：イエス・キリストを。彼の何を信じているのか：復活して今、ここに生きておられることを。彼はどこにいるのか：わたしたち一人ひとりの中に：そして、呼び集められている仲間、教会の中に。イエス・キリストをどのように知る

ことができるのか：そのみ言葉を聴くことによつて。沈黙の中で語られる主に聴くことによつて。

変わらない教会

ベネディクト十六世教皇が引退された歴史的な大きな出来事に目を留めることが必要だと思ふ。疲れて、もう力がない…と引退された。高齢であったとはいえ、一体何に疲れられたのだろうか。第二バチカン公会議で、教会は初めて自らを見つめ直した。教会は現代社会の中にあつてその使命を果たしているのだろうか。人々にイエスの救いの福音は伝わ

っているのだろうか…と。教会は「今」を生きていることに気づいた。「今」福音を伝えなければならぬ…がそれが伝わらない。それどころかますます過去にこだわっている。教会が変わらない。前教皇はそれに疲れたのではない。か。その根本的な原因は、イエスを見ていないこと。イエスに向かつていないこと。イエスの言葉に耳を傾けてないこと。やっていることのピン트가ズレている。ピントがイエスに合っていない。頑な心になり、自己中心になり、イエスの方を向いていない…。フランシスコ教皇はそのことを強調している。教皇の言葉と態度、姿勢、生活、生き方をもつて…。

教皇は遠い存在？

「教皇様」といえば何か遠い存在のように、雲の上の人のように感じる。しかし時代は変わり、その日の教皇の行動を、言葉を知ることができるようになった。メッセージも多言語で全世界に発信されている。バチカンに行かなくても、教皇を呼ばなくても、その言動を知ることができる。

教皇自身が言われている。「わたしは人々のいない広場（バチカンの聖ペトロ広場）の前であつても説教します。皆さん、旅行のためにお金を浪費せず、そのお金を貧しい人々に与えてください。」聴くことから、すべてが始まる。

★教皇フランシスコの動向を知る方法

- ・ 一月十二日の信徒司祭懇談会「教皇メッセージに触れよう」で具体的に説明させていただきます。ぜひご参加ください。：小倉教会ホームページでは教皇メッセージを随時紹介しています。
- ・ 週刊「カトリック新聞」
- ・ 月刊誌「あけぼの」「家庭の友」
- ・ 「カトリック生活」など
- ・ マリオ・エスコバル著「教皇フランシスコ」12億の信徒を率いる神父の素顔」八重樫克彦／由貴子訳、新教出版社
- ・ カトリック中央協議会ホームページ
- ・ バチカン放送「日本語・多言語」
- ・ 教皇ツイッター（短い投稿サイト）「英語」この10月末で読者が一千万人を超えた

Following Pope Francisco

Priest of Kokura Catholic church
Makoto Yamamoto



"Okkake" (a Japanese vogue word, which means following a favorite person)

My "okkake" of Pope Francisco started since March 13th, this year. Since, we can watch a broadcast of Vatican, every 24 hours; we can also watch same programs after watching live ones.

There are preaches of morning mass, prayer of Angeras with pilgrimages in St.Petro Square, the audiences every Wednesday, in the Square, (in Paul VI hall in winter time). In addition to such regular events, we can see irregular events and liturgies.

"Okkake" of Pope Francisco is "okkake" of Francisco of Assisi, and also "okkake" of Jesus Christ, who walk further than two persons.

「The Year of Faith」

The last Pope Benedict XVI, settled "The Year of Faith", from last Oct.11th to This Nov.24th.

"Think about the faith more deeply." After retire of the last Pope, new Pope Francisco was elected.

He suggests to look again our faith by easy words. He teaches hints to look again religious. Not only teach, but also teach with showing his life. There is Jesus Christ in a root of his life.

Jesus Christ

Whom we believe? Jesus Christ.

What of him, we believe? Being here, after his resurrection.

Where he is? In every persons, and inside gathered friends, and churches.

How to know Jesus Christ? By listening his words, and listening Lord, who speaks in silence.

Unchanged Church

We must pay attention the retire of last Pope Benedict XVI, which was great news. It was said that, "He was tired, then he retired." However, of what he tired.

In Second Vatican Council, church firstly looked again himself.

"Does mission work in modern world?", "Does Gospel of saving of Jesus, transport to people?" At last, church finds that church lives now! We must transport Gospel now, however, it does not transport. However, we tend to maintain "the past", and church will not change.

Was last Pope tired of it?

Reason of the tiring was that, he did not see Jesus; did not faces Jesus, did not to listen word of Jesus. His action was out of focus. Being inveterate and Egoistic.

Just such situation, new Pope Francisco emphasizes, with his attitude, his life, etc.

Is Pope far from us?

We feel generally Pope, as a being which is far from here, as upper on clouds. However, as the time is changed, and we can know immediately his acts, his words. Messages are also transported toward all over the world. Unless we go to Vatican, we can know his acts and words.

He just speaks, "I will preach in a spcae, even if no one attends.

You should not waste to visit here, but you give its money to poor person". Everything is began, from listening.

★ Actions and speeches of Pope Francisco, are announced by Home Page of Kokura Church.

正義と平和全国集会に向かつて

正義と平和全国集会・福岡大会が来年9月13日(土)〜15日(月)に開かれます。

6月に第1回実行委員会が開催され、11月17日で第4回目が開催されました。(次回12月15日)まだ検討項目が多くありますが、決定されたことやお知らせ致します。

【テーマ】
いのちを大切に
する社会を
めざして

サブテーマ「見て・聞いて・知って・働く」

【開催場所】/大名町教会をメインとする。現地学習も組み込んでいく。

【開催スケジュール】
9月13日(土)午後、基調講演と交流会。

9月14日(日)現地学習参加者は朝出発。大名町教会ミサ後、ミニ講演会。午後、テーマ毎の分科会。

9月15日(月)午前、全体会(対談予定)と派遣ミサで終了。

【実行委員会組織】
実行委員長/中村彰神父
副実行委員長/目良 豊

書 記/田中重治神父
追立泰治

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

ります。例えば、現地学習候補地として、①玄海原②水俣③筑豊④下関⑤菊池恵楓園⑥抱樸館福岡見学の6ヶ所が挙げられています。分科会のテーマとして、①日韓②薬物依存③福島の現状④憲法⑤青年⑥滞日外国人⑦障害者⑧死刑廃止⑨女性と子ども等

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

司祭と信徒との懇談会を開催します。
どなたでもご参加下さい。

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

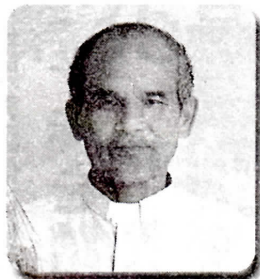
◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆

司祭紹介

門司教会

かわうえ えいみつ
川上栄光 神父

1941年生まれ 72歳
長崎県五島出身



『司祭談』 私は、六月下旬に名古屋教区からこの門司教会に転任してきました。福岡教区で働かせてもらうのは初めてであり、この門司に住むのも初めてであります。初めは、何もかも珍しく、又、新しく、私の心も新鮮で落ち着かなかったのですが、日が経つに連れて、大分落ち着いてきました。

小さい時、私は農家生まれで、将来、農夫になるかもと半分覚悟を決めていましたが、しかし、それ以上に島から都会に出たいという願望を持っていました。

ところが六年生の時、神言会の司祭が故郷の教会に召し出し募集にきて、私もその竿に釣られてしまって、神学校に中1で入り、そしてずっと後、やっと司祭になりました。まだまだ未熟でいつもスタート点に立つ気持ちです。どうぞよろしく願います。

『信徒談』 今年7月、井手神父様がフィリピンに研修留学され、門司教会は司祭不在に心痛めておりましたが、が、司教様は思いがけない贈り物を下さいました。川上栄光(かわうえ えいみつ)神父様です。ユーモアに富み、お気持ちも若く、身体を動かされることに張り切っておられます。この季節、朝ミサ後、枯れ葉のお掃除される後ろ姿に心打たれます。高齢者の多い門司教会にあっては、話し易い神父様でしょう。まだ慣れない土地や教会行事に戸惑うことも多い中、早々に、平和の集いの子どもの広場、納涼会、バザーなど積極的にご参加下さいました。カラオケが趣味だそうです。

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

福岡教区信徒協研修会 大名町教会

” 一步を踏み出そう “

— 森山神父が力強く講演 — 9月23日



テーマは「社会の中の教会をめざして—派遣された私たちに今できることは何?」森山神父は、「まず社会に生きる一人一人に何が求められているか、また教会の役割を考えていきたいと思えます。」と述べて講話を始めました。

出エジプト記と現代世界憲章の冒頭の言葉が重なり合い、社会の中で悲しみ苦しんでいる人々に寄り添えるかと問いかけてました。そしてヨハネ23世の回勅「パーチエム・イン・テリス(地上の平和を)」についてその重要な点について詳しく話しました。回勅にある対話、時のしるし、軍縮についての説明の後、教皇の次の言葉を紹介しました。「最後の審判の際、問われるのは一

致を実現することに成功したかどうかではなく、一致のために祈り、働き、悩んだかどうかである」「教会の伝統というのは過去に積み上げてきたものを重荷のように担い続けることではない。次々と立ちあらわれてくる事にたいして即応できる能力のことである」「この言葉は参加者に新鮮かつインパクトを与えたものとなったようです。最後によきサマリア人のたとえ話を引用し、「教会が社会問題に関わるのは、一人一人の生命が大切にされ、その権利が尊重され、皆が幸福に生きるためです。そのためには、教会内部だけで何かをしたり考えたりするのではなく、教会外で起こっている様々な問題に関わることにより教会は変われるのではないでしようか。」

『福島を救う』から『福島から救いが始まる』へ、そういう視点をもって行動していきましよう。」と結びました。

ニュースあれこれ

*** 典礼部会研修会のお知らせ**
2月16日(日)午後から小倉教会で研修会を計画しています。各小教区からの参加をお願いします。

*** 豊津教会オルガンの調べ**
新しいオルガンを購入しました。どんなオルガンか、一度見学に行かれませんか。

*** 北九州市民クリスマスのお知らせ**
今年からカトリック教会も参加することになりました。ぜひともたくさんの方の参加をお待ちします。

・日時/12月14日(土) 15時から
・会場/リバーウォーク大劇場

*** 講演会のお知らせ**
プロテスタント教会(日本キリスト教団)から、2月11日(建国記念の日・休日)に開催する講演会のお知らせが来ています。場所・時間などについてはこれから決まりま

すので、一月の代表者会議にはお知らせができる予定です。昨年もプロテスタント東篠崎教会で開催された、さいたま教区の谷司教をお招きした講演会に、北九州地区の各教会からたくさんの方が参加しました。

今回もカトリック、プロテスタントの垣根を越えた行事にたくさんの方の参加をお待ちしています。

*** 地区信徒協の会則の改定**
1971年に決められたこの会則も三度目の改定が1988年に行われてからそのままになっていました。その後、地区の活動は活発になり、さまざまな活動が展開されてきました。しかし、会則がこの活動内容に付いていていないという反省から一年半かけて検討を行い、この度、改定案がまとまりました。これから教区長の承認を経て正式な改定が決定します。

*** 教区信徒協研修会記録集**
9月23日の研修会記録集が年内に出来る予定で全小教区に配布されるとのことです。

編集室の窓

* 教皇様の言葉や動きが毎週のカトリック新聞に掲載されています。しかし、これが教皇様の全てではありません。

教皇様が就任されてから、小倉の山元神父がバチカンからの報道をインターネットで見つけてきました。今回は神父が見てきた教皇様の発言などをまとめていただき、三面に掲載しました。

* 日本にいる外国人のほとんどの人は、日本語の新聞は読みません。まして日本語のカトリック新聞など読む人はいないでしょう。そのため教皇様について山元神父に書いていただきましたので、この文を英訳して掲載し、教皇様の言葉を読んでもらうことにしました。

周りにいる外国人信徒にもぜひお渡しください。

* 来年初、「福岡で正義と平和全国集会」が開催されます。少しづつ準備が進んでいます。次号から少しづつ詳しい内容をお知らせすることにします。全国からたくさんの方が参加されたらいいですね。(岩本)